

委員会報告



總務文教
常任委員會

基金の統廃合によりその本数を減らし、基金の額をまとめるここにより運用効率の向上を図るため、条例改正を行うもの。

■たて歴史の杜カルチャーセンター条例の一部を改正する条例

「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者負担のバランスなどを考慮して値上

伊達市総合体育館条例の一部を改正する条例

質問▼条例改正後に大会を行う場合の料金はどのようになるか？

■公の施設に係る指定管理者の 指定について

審査の中では、

■伊達市税条例等の一部を改正する条例

「まなびの里パークゴルフ場」の管理を行わせる管理者の指定について

質問▼ここ数年の入場者数は。

審査の中では、

答弁▼平成26年度は3万437人、平成27年度は2万9080人、平成28年度は2万5327人である。

審査の中では、

「地方税法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、税条例等の一部の改正を行うもの。

伊達市税条例等の一部を改正する条例

答弁▼それぞれの基金について創設の経緯や目的を考慮し、基金残高は内訳で管理していく。

審査の中では、

質問▼条例改正により、どのくらいの使用料収入となるか。

■ まなびの里条例の一部を改正する条例

答弁▼平成27年度の決算実績に置き換えて計算すると、約56万円の増収となる。

審査の中では、

「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者負担のバランスなどを考慮して値上げする必要があるため、条例改正を行うもの。

質問▼使用料値上げによる增收の見込み額は。

■伊達市地域振興基金条例等の一部を改正する条例

質問▼現在の課税対象の軽自動車の台数と軽減対象台数は何台か。また、軽減される額はいくらか。

「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者負担のバランスなどを考慮して値上

答弁▼平成27年度の決算実績に置き換えて計算すると、約550万円の增收となる。

答弁 課税対象の軽自動車は1万台で、軽減対象は397台で、軽減する必要があるため、条例改正を行うもの。

げする必要があるため、条例改正を行うもの。

■伊達市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

《10月28日(金)》

所管事務調査

★「さて歴史の杜教育センター整備運営事業」について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及び「地方公務員災害補償法施行規則」の一部改正に伴い、所要の条例改正を行うもの。

■伊達市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改定する条例

「一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律」の改正が閣議決定したことから、本市においても所要の条例改正を行うもの。

建設中の施設を見学したのち、事業者である「ふれあいだて歴史の杜教育センター(株)」からの説明を受け、事業概要や今後のスケジュール、学校給食や伊達産食材を使用した日替わり定食等の提供などの自主事業について調査を行った。

質問▼食育の推進は。
答弁▼地産地消や米飯給食の充実、調理施設の見学を行うほか、市民の食に関する研修・交流、栄養指導等の充実に努め、施設の有効利用を図る。

質問▼重点課題は。
答弁▼

- ・65歳以上の高齢者の死者数が高水準で推移
- ・16歳から24歳までの若者の死者数が大きく減少
- ・交通事故の死者数は10年連続で減少しているが、高齢ドライバーの事故の増加、飲酒運転による交通事故は減らない。

今後も施設管理運営改善委員会を毎週1回開催し、改善点、苦情、要望事項の報告等を全職員が情報共有し、快適な運動環境の創出のために、きめ細かな管理運営を考えている。

32年度までの5年間であり、交通事故等の現状や計画の位置づけについて調査を行った。

現在の活動状況や今後の計画や活動などについて意見交換を行った。

共同事業体として市からの指定管理を受け2年が経過、利用者数も2年連続で10万人を突破した。

質問▼交通事故の現状は。

達南中学校を伊達中学校へ統廃合することに伴い、所要の条例改正を行うもの。
いざれも全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。

■伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例

質問▼防災機能の導入は。
答弁▼非常時の炊き出しなど、周辺施設との連携を図り、災害への対応を図る。

質問▼飲酒運転の根絶
答弁▼

- ・生活道路における安全確保
- ・高齢化社会を踏まえた総合的な対策
- ・自転車の安全利用など

《11月21日(月)》

★「第10次伊達市交通安全計画」の策定について

「自事業」「加入団体の活性化」
業体について



がら対応していきたい。



■公の施設に係る指定管理者の指定について

「大滝交流施設」の管理を行わせる指定管理者の指定について。

■公の施設に係る指定管理者の指定について

「伊達市観光物産館及び黎明観」の管理を行わせる指定管理者の指定について。

審査の中では

質問▼新しい施設が建設される予定の中で、現在の黎明観をどのように活用していくのか。

答弁▼黎明観は、札幌の小・中学校に向けて教育旅行の誘致活動を行ったことによる施設利用が増えている。また、刀鍛冶工房は海外からの旅行者の来場者が増えている。



市道の路線認定の現地調査のようす

審査の中では

質問▼パークゴルフ場の利用者が減少しているが、指定管理者の工夫や努力が見られない。その評価が今回の低い評価点数に表れているのではないか。大滝総合支所としてどのように考えているのか。

手話により、やさしい心がかよいいう温かい社会の実現を図り、誰もが安心して暮らすことができる伊達市を目指すため条例を制定することについて。

審査の中では

質問▼手話通訳員の配置人数や協力員の謝礼をどのように考えているのか。

答弁▼手話通訳は特殊な技術を必要とし、人材確保は困難な面がある。また、協力員の高齢化もあり、活動の継続に向けて手話ができる

組織や雇用関係について大滝総合支所で指導等をしていきたい。

■伊達市やさしい心かかようあう手話言語条例



■伊達市大滝区定住促進住宅条例

大滝区における若年者の移住・定住対策を効果的に推進するため、大滝区定住促進住宅を設置し、その管理について規定する条例を制定することについて。

答弁▼大滝区では指定管理者を募集してもこの法人以外に応募がない。同法人は合併前から運営に携わっていて安定感はあるが、大型宿泊施設のリニューアルに伴う利用者減少などを見込んだ新しく対応すべき項目への意識が低いという意見がある。

高齢化という問題もあるが、組織や雇用関係について大滝総合支所で指導等をしていきたい。

質問▼市民への啓発活動はどうのようになっていているのか。

答弁▼耳の日（毎年3月3日）にあわせた啓発イベントの参加者数が芳しくない。来年は条例も制定されることもあるので、できるだけ多くの市民に参加してもらえるようホームページやチラシなどを利用して告知していきたい。

質問▼若い人を増やしていきたい。協力員への謝礼については、室蘭市や登別市と差があるので、人材確保のためにも同じレベルに増額していきたい。

審査の中では、

質問▼条例の中で、若年者向けの住宅であることが定義されているが、年齢制限の規定が入っていないのはなぜか。



答弁▼当初は年齢制限の規定を入れることを検討したが、過去3年間の入居者を調査した結果、20代の若年者の入居がほぼ100%であったこと、給与水準が比較的低い若年者を雇用している実態がはつきりしたことなどから規定を入れなかつた。

子育て世帯が定住するという趣旨と合致しない場合には受け付けないということも事業者に説明するなどの対応を考えている。

質問▼条例全体で使われている「使用者」の定義が具体的なケースで確認しないと意味がわからない点があるが、条文作成にあたって何を参考としたのか。

答弁▼他の事例を参考にして法制係（担当）にも確認しながら作成したが、具体的なケースを確認しないとわからない点があることは否認できない。

運用の中で、混乱を来さないようしつかり定義を位置づけていく。

●その他付託案件

- ・財産の無償譲渡について
- ・市道の路線の認定について
- ・伊達市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
- ・伊達市立保育所条例の一部を改正する条例
- ・伊達市民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・伊達市下水道条例の一部を改正する条例
- ・伊達市簡易水道条例の一部を改正する条例

所管事務調査

12月13日に経済環境部農務課より「伊達野菜の知名度向上・ブランド化の取組について」の調査を行った。



伊達野菜直売会のようす

動が展開された。

主なプロモーション活動として、札幌大通ビッセなどでの伊達野菜直売会、札幌市中央卸売市場消費拡大フェア、国内外の販路開拓調査を行った。

農業後継者の確保・育成に関する活動では、新農業人フェアに参加して伊達ブースを設け、就農に興味のある方向けの相談窓口を設けたところ相談に来られた方がその後伊達市での短期体験につながった。以上、大都市における継続した流通販売への問題点や新規就農者獲得に向けての問題点などを確認した。





委員長 篠原一寿

予算決算
常任委員会

質問▼整備費において過疎対策事業債の利用ができなくなり、一般財源をあてることになつた理由は何ですか。

平成28年度伊達市一般会計補正予算(第7号)の審議内容について、主なものは次のとおり。

■小中学校アスベスト対策改修事業について

審査の中では、

質問▼これまでの管理状況はどうだったのか。また、財源の確保はどうなつているのか。

答弁▼平成17年度に伊達小学校、東小学校で暖房用の煙突からのアスベストの剥離があつたため、それ以降毎年、使用前に気中測定を行い、いずれも基準値内であることを確認した。

また、国の学校施設の交付金を申請中である。

■大滝サービスステーション整備事業について

伊達赤十字病院に対する補助金と財政措置について

答弁▼伊達赤十字病院に対する2億円の補助金は今年で7年連続となりました。この財源措置としてこれまで国からの特別交付税が60%近くあり、残り40%が市の持ち出しでした。が、国の算定方法の見直しがなされて今年度については特別交付税措置が20%程度となりました。大きな要因は精神等特殊医療に係る措置が都道府県に一元化され、市町村に措置されないことになつたものです。

が、質疑では道に対ししてその分、措置を求めていくとの答弁がありました。



答弁▼国と道との協議の中で、民間営利企業に過疎対策事業債を充当するのは好ましくない。また、利用者が大滝区民だけないと判断されたためである。

主な事業は

事業名	予算額	事業概要
経済対策臨時福祉給付金	1億4,250万円	低所得者の負担軽減を目的とした経済対策臨時福祉給付金の給付
水産系堆肥運搬等経費	985万5千円	水産雑物の処理量が増え安定的な堆肥化処理を確保するための堆肥センターから胆振西部衛生組合跡地へ土壌改良材としての搬出及び整地経費
共同利用全自动ほたて耳吊機導入事業補助金	4,635万円	いぶり噴火湾漁業協同組合に対する全自动ほたて耳吊機導入費の補助
大滝区サービスステーション整備事業	7,302万円	「ホクレン大滝給油所」の既存施設を譲り受け、同一の場所で給油所を整備するための建設に係る費用
小学校アスベスト対策改修事業	4,536万円	4小学校の暖房用煙突断熱材にアスベスト使用の可能性が高いことから煙突の囲込み新設工事を行う
中学校アスベスト対策改修事業	3,402万円	3中学校の暖房用煙突断熱材にアスベスト使用の可能性が高いことから煙突の囲込み新設工事を行う

■平成28年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市下水道特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市介護保険特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市簡易水道特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市水道事業会計補正予算(第2号)

以上5会計の補正予算は原案のとおり可決しました。

